

# 胎内市防災ガイドブック

災害への備えは大丈夫ですか？  
 避難場所や安全な避難方法について  
 家族で話し合っておきましょう。



胎内市

## 事前準備・内容把握チェックリスト

事前準備・内容把握チェックリスト	平成		平成		平成	
	年	月	年	月	年	月
① 東日本大震災の教訓を確認した。						
② 市からの避難情報の種類ととるべき行動を確認した。						
③ 胎内市防犯防災メールに登録した。						
④ 非常持ち出し品の準備ができた。						
⑤ 水害や土砂災害における自宅周辺の危険性を把握した。						
⑥ 地震における自宅の危険性を把握し、対策を行った。						
⑦ 実際に避難所まで歩いて、避難ルート上の危険性を確認した。						
⑧ 新しい津波警報を確認した。						
⑨ 共助の重要性を確認し、近所づきあいを始めた（続けている）。						
⑩ 「わが家の一時避難場所」と「最終的に集まる避難所」を全員で確認した。						
⑪ 改めて胎内市の自然の豊かさを実感した。						

## ■わが家の防災メモ 家族や近隣の要援護者と相談して、書き込みましょう

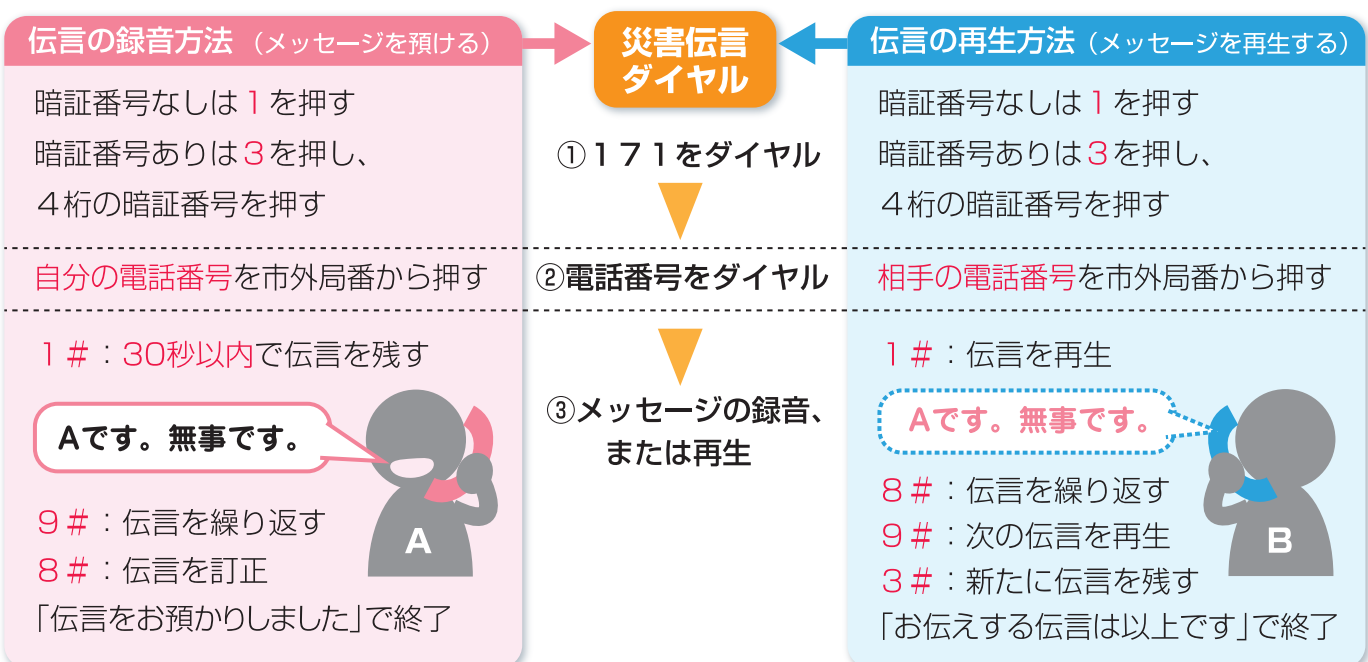
わが家の一時避難場所		自宅から徒歩( )分
最終的に集まる避難所		自宅から徒歩( )分

	名 前	性別	生年月日	血液型	既往症	日中の連絡先 (会社・学校の電話番号や携帯電話)
家 族						
要 援 護 者						

## ■災害伝言ダイヤル 171

災害発生時は被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、被災地への通話がつながりにくい状況になります。災害用伝言ダイヤルはこういった場合に、提供が開始される声の伝言板です。ぜひご利用ください。

※緊急通報を確保するため、被災地への不要不急の電話は自粛しましょう。また、メールは通信手段として有効です。



※伝言は被災地の方の電話番号を知っている全ての方が聞くことができます。

聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。

※災害伝言ダイヤルの詳細情報については、NTTのHP <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html> をご覧ください。

# 目次

胎内市の過去の主な自然災害 2

1. 防災・減災に向けて 4

2. 風水害について 8

3. 土砂災害について 22

4. 地震について 26

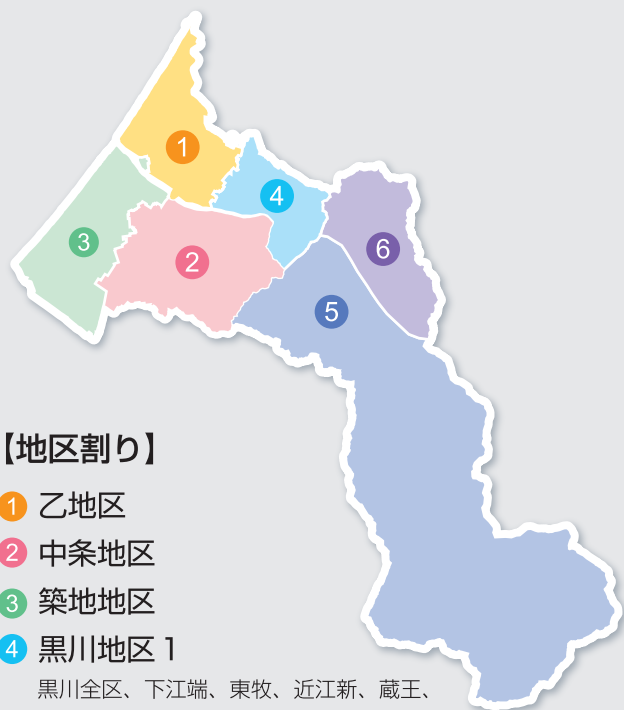
5. 津波について 38

6. さらなる減災に向けて 42

防災関係機関一覧 44

胎内市は、飯豊連峰を源とする母なる川・胎内川を中心に生活域を形成しています。15kmに及ぶ海岸線には砂丘と松林、胎内川扇状地には緑あふれる農地、地域の中央には南北に櫛形山脈・蔵王山塊が連なり、四季折々の美しい自然に彩られるまちです。

これらの豊かな自然に恵まれている反面、自然災害の危険性が高いことも事実です。「天災は忘れた頃にやってくる」といいます。胎内市でこれまでに発生した主な自然災害をふりかえりながら、防災・減災に向けた日頃の準備を行いましょう。



## 【地区割り】

- ① 乙地区
- ② 中条地区
- ③ 築地地区
- ④ 黒川地区1  
黒川全区、下江端、東牧、近江新、蔵王、塩沢、塩谷、下館、下赤谷、前山台
- ⑤ 黒川地区2  
坪穴、栗木野新田、夏井、鼓岡、坂井、熱田坂、宮久、川合
- ⑥ 黒川地区3  
須巻、下荒沢、持倉、黒俣、大長谷、小長谷、鍛江